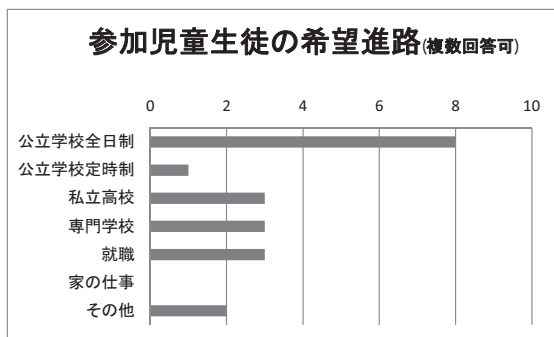
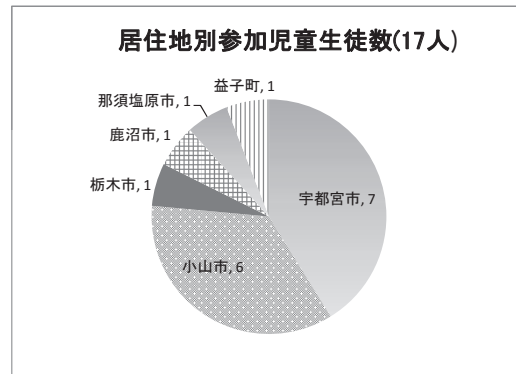
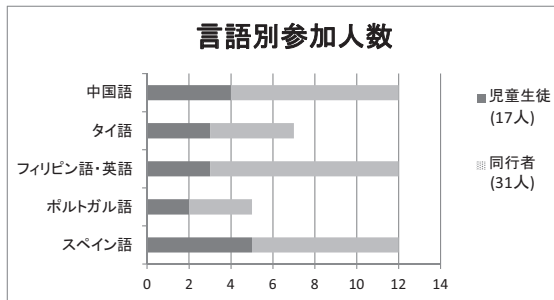


参加者アンケート結果 (抜粋)



「多言語による高校進学ガイダンス」に参加して



栃木県立鹿沼東高等学校 英語国際理解部

川嶋 沙妃
金子 真理

私たち英語国際理解部の6名は、会場準備・片付け、記録係りとして、このガイダンスに参加しました。また、このうちの2名が卒業生の体験談での司会を務めました。ガイダンスに参加する前はあまりよく分かっていなかったのですが、参加してみて県内の外国人児童生徒の現状を知ることができました。

私たちの部活は、夏休みに東京のJICA 地球ひろばやユニセフハウスなどを訪問し、世界には学校に通えない子どもが多くいるということを知りました。しかし、ここ栃木県にも思うように高校進学できない子どもたちがいるということを知り、驚きました。「高校の教科書はいくらですか?」「私立の単願と併願の違いはなんですか?」次々と質問が出てき

ました。他の中学生なら当然知っているようなことも分かっていない様子でした。言葉が通じないせいで、授業についていけない。高校自体を理解できていない。そんな現状を目の当たりにしました。

国際理解というと、遠い海外を思い浮かべてしまいがちですが、自分の身近にいる困ったこともたちに手を差し伸べることも大切だと改めて気づきました。通訳の方、国際交流協会の方、プロジェクトの方、教育委員会の方、宇都宮大学の学生の方、皆さんが協力しあって、外国人児童生徒を支えていることに感動しました。

私たちも、ここ栃木県の外国人児童生徒のために力になりたいと思うようになりました。